

一般  
質問

質問  
自衛隊模擬訓練の期日は

答 弁 年内実施に努力する



岩崎 将好 議員

**質問** 煙樹海岸における陸上自衛隊水際障害模擬訓練に関する要望意見書を昨年9月に本議会が関係各位に提出して、次の議会を迎えると丸一年になる。

同訓練の今後の展開について、町長の展望と方針を示していただきたい。

**町長** 関係漁協の理解が必要となるが、まだ三尾漁協の意向が確認できない状況のため、模擬訓練の日程が決まらない。

私としては一刻も早く模擬訓練の実施を三尾漁協にもご理解いただけるよう、近々にも訪問して申入れをする。

**質問** これを目処にすると、いうような期日は無いのか。

**町長** 年内に実施出来るように努力する。

●津波避難塔の建設について

**質問** 水門を西川河口に建設するには莫大な事業費がかかり、事業の採択は容易なものではない。そればかりではなく、事業の着手から、完成までには、相当な年月が必要である。

もちろん、抜本的な対策として、水門は素晴らしい物ではあるが、完成までに地震が起きないという保証は無い。

津波の危険のある地域の住民に、安心して生活をしてもらうためには、先ずは一日も早く津波避難塔を建設するべきではないか。

たとえその後、立派な水門が完成したとしても、その間の、津波危険地域住民の安心と、全町民に対する防災啓発効果は大きく、決して塔を建てた事業費は無駄にはならないのではない

**町長** 避難塔は、私自身も非常に効果的なものと考えている。

まずは、津波の影響の受けやすい地域に、避難経路等を加味した上で、数箇所等に設置できないものかと、検討している。

ある程度の事業の目処がついたら、区長会や自主防災会と調整させていただきたい。

設置に向けて取り組みたいと考えている。

**質問** 設置予定の地区と何基程度の設置が必要か。正式に決まっていなくても町長自身の構想をお答え願いたい。

**町長** やはり津波において危険な地域、例えば田井畑、浜ノ瀬、三尾が考えられる。できるだけ早急に取り組みたい。



▲和歌山駐屯地隊員による救助訓練